

M I E N O N I J I

みえの虹



三重県生活協同組合連合会
〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目135

TEL 059-228-9913
FAX 059-228-9915

No.92

2012年5月

国際協同組合年フォーラム ～絆社会と私たちの役割～ を開催しました



2012年は国際協同組合年です



協同組合原則

1995年9月マンチェスターでのICA大会で採択

- 自発的で開かれた組合員制
- 組合員による民主的管理
- 組合員の経済的参加
- 自治と自立
- 教育、訓練および広報
- 協同組合間協同
- コミュニティへの関与

国際協同組合年フォーラム 「絆社会と私たちの役割」 開催報告

3月15日にアスト津にて、国際協同組合年フォーラムが開催されました。このフォーラムは、三重県生協連、JAGグループ、みえ漁連、労福協の4団体が中心となり組織する「2012 国際協同組合年三重県実行委員会」の主催によるもので、協同組合活動の意義や社会的役割の取り組みについて交流するため開催され約180人が参加しました。内容は、DVD「協同組合がよりよい社会を築きます」を上映し、国際協同組合同盟や協同組合の7原則等を学びました。

その後、上野達彦氏（三重県生活協同組合連合会 会長理事）がコーディネーターとなり、4団体の代表がパネラーとしてディスカッションをおこないました。パネラーの茂木穰氏（三重県生活協同組合連合会 専務理事・コープみえ理事長）、奥野長衛氏（三重県農業協同組合 中央会・各連合会 共通会長）、永富洋一氏（三重県漁業協同組合連合会 代表理事 会長）、土森弘和氏（三重県労働者福祉協議会 会長）からは、各団体の活動や重点課題などについて交流しました。茂木専務理事からは、



フォーラムの参加者は約180名でした

東日本大震災や台風12号の支援活動報告に続き、組合員が生協を通じてつながる場づくりと国際協同組合年を多くの人に知らせていくことの必要性についての発言がありました。最後に国際協同組合年三重県実行委員会の今後の取り組みのお知らせがあり、永富代表理事会長の挨拶でフォーラムを閉会しました。7月14日には、メッセウイングみえで二〇一二国際協同組合年フェスティバルinみえを開催します。



公開セミナー 政府に聞くTPPで 何が変わるのか 開催報告

3月21日（水）夜、津市のアストホールで開催された、公開セミナー「政府に聞く、TPPで何が変わるのか」で、消費者の立場から、三重県生活協同組合連合会 茂木穰専務理事（コープみえ理事長）がTPPに対する考え方について意見を述べました。

今回の公開セミナーは、三重県が主催し、内閣官房の後援により200名余りが参加しました。鈴木英敬三重県知事の挨拶に続き、政府の担当者より、日本を取り巻く国際情勢やFTAAP（アジア太平洋自由貿易圏）について説明がありました。その後、三重県農業協同組合中央会、三重県商工会議所連合会、

三重県生活協同組合連合会の代表より、TPPに対する考え方について講演がありました。三重県生活協同組合連合会 茂木穰専務理事（コープみえ理事長）からは、TPPに参加により、食の安全の面では輸入食品の検疫の体制、残留農薬、食品添加物、遺伝子組み換え原料の使用に関する表示方法に対する懸念、医療制度の面では公的医療保険の給付範囲や医療機関の安全性の低下に対する懸念がある

と述べました。また、国民に対する今後の情報開示の必要性も述べました。3団体からの講演の後、コーディネーターの三重大学大学院医学系研究科 西村訓弘教授より、参加者から出された質問を政府担当者にお聞きし、政府担当者から答えていただきました。生協では、TPP問題は、くらしにかかわる密接な問題として、今後も注目していきます。



茂木 穰 専務理事



鈴木 英敬 三重県知事

専門
委員会
報告

「食の安全委員会」

4月17日（火）に食の安全委員会として、松阪市嬉野川北町にある植物工場三重実証拠点を見学しました。この施設は農林水産省の「植物工場普及・拡大総合対策事業モデルハウス型植物工場実証・展示・研修事業」により2011年3月に整備されました。自然エネルギーを最大限に利用した「太陽光利用型」に取り組んでいることや、施設を利用して三重大学や国の研究機関、環境制御機器関連企業などで産学官コンソーシアムを形成しトマト・イチゴの技術開発・実証に取り組み、活用できる技術については研修会などを通じて普及・拡大をおこなっていることなどの説明を受けました。その後ビニールハウスを見学させていただきました。ハウスでは「ユビキタス環境制御システム（UECS）」という名の積極的な環境制御を行い経営コストや生産性の追求・研究がおこなわれていました。また「低段密植栽培による高収益生産」「イチゴ栽培の周年化」「高密度移動栽培システムと自動収穫機」「種子繁殖型品種の実用化」などが研究実証されていました。



三重県職員の方から説明をうける委員のみなさん



ハウスではイチゴの他にトマトも栽培している

「低段密植栽培による高収益生産」「イチゴ栽培の周年化」「高密度移動栽培システムと自動収穫機」「種子繁殖型品種の実用化」などが研究実証されていました。

専門
委員会
報告

「平和活動委員会」

4月20日（金）四日市じばさんみえにて、三重県生活協同組合連合会と北勢地区平和のつどい実行委員会の主催で、最前線兵士が見た「中国戦線・沖繩戦の真実」講演会が開催され84名が参加しました。桑名市在住の近藤一さん（92歳）が体験された戦争体験を聴くことにより、平和の尊さと、戦中おこなわれてきたことについて学び、さらに憲法第9条についても考える機会となりました。特に中国戦線の話のくだりは、加害者立場からの話で非常に衝撃的であり、生々しくリアルものでした。近藤さんは当時の事を思い出されるたびに目に涙を浮かべられ、言葉に詰まるシーンが幾度とありました。今回、講師の近藤さんが高齢であることから、このような講演会を今後頻りに開催することが困難と考えられるために業者に撮影を委託し、映像をDVDにて保存することにしました。参加者からは「つらい経験を思い出すだけでもおつらいでしょうに、知らない者に伝えたいと一念で話して下さったことをありがたく思います。しっかりと目を聞き耳をそばだてて再び戦争の悲惨さを味合わないよう、しっかりと生きていかなければと思います。」との感想が寄せられています。新聞各紙やNHKテレビのニュースでも紹介されました。



講演される近藤一さん



参加者で委員の会場

「つらい経験を思い出すだけでもおつらいでしょうに、知らない者に伝えたいと一念で話して下さったことをありがたく思います。しっかりと目を聞き耳をそばだてて再び戦争の悲惨さを味合わないよう、しっかりと生きていかなければと思います。」との感想が寄せられています。新聞各紙やNHKテレビのニュースでも紹介されました。

専門
委員会
報告

2012年
ハート平和行進
開催のご案内

今年も左記の日程で津市内を、「核兵器廃絶」と「平和への願い」をアピールしながら行進します。また、行進終了後に集会も開催します。行進はどなたでも参加できます。当日、会場に直接おこし下さい。



昨年のハート平和行進のようす

- ◆日時：6月14日(木) 14:00～16:00頃
- ◆ところ：津市お城西公園
- ◆内容：
 - 14:00頃～全岐阜県生協連との引継集会・ハート平和行進出発集会
 - 14:20頃～ハート平和行進(津市お城西公園～三重県水産会館)
- ※行進終了後、三重県水産会館で集会を開催します。
- ◆主催：ハート平和行進実行委員会
 - ・三重県生活協同組合連合会
 - ・三重県原爆被災者の会
 - ・原水爆禁止世界大会三重県実行委員会

会員だより

北勢地区平和のつどい実行委員会・コープみえ

2012年 ハート平和行進にむけた準備をすすめています

北勢地区平和のつどい実行委員会

今年も6月のハート平和行進にむけて実行委員会での相談がスタートしました。平和活動委員会でも、ハート平和行進の前に開催する全岐阜県連との引継集会の内容やハート平和行進で市民の方へのアピール方法などの議論おこない、当日にむけた準備をすすめています。ぜひ、多くの方に参加していただけますようお願いいたします。



「ふくしまの子どもたちをお迎えしました」

コープみえ

コープみえでは、東日本大震災の被災地支援の取り組みのひとつとして、コープふくしまと連携して、福島の子どもたちが被ばく積算量の心配をすることなく思いっきり野外で遊んで、体も心も元気を取り戻せるようにと春休みに子どもたちを三重県にお招きしました。3月27日(火)四日市市のふれあい牧場で、福島県のコープふくしまの組合員さんとそのお子さん、5家族11人をコープみえの組合員とのお子さん11家族20人やコープみえの役職員、四日市酪農のみなさんがお迎えしました。参加されたコープふくしまの組合員さんからは「震災以降、海を見ることがあまりありませんでしたが、三重県の穏やかな海を見ることができてよかったです。このような企画をしていただき、子どもが外で遊ぶことができて嬉しいです。」との感想が出されていました。28日には、志摩マリランドや志摩スペイン村で一日を過ごし、最終日の29日は伊勢神宮を訪れました。この企画は、組合員みなさんから寄せられたカンパ金をもとに、コープみえの取引先の四日市酪農様やマサグループ様にご協力をいただいて実施しました。



福島の子どもたちと記念撮影(四日市ふれあい牧場にて)

三重県からのお知らせ

食の安全・安心ミニ情報

食中毒とは?
食中毒の起こりやすい
時期について



食中毒は細菌やその毒素、ウイルス、有害物質などに汚染された食品が原因で起こります。主な症状は胃腸炎(下痢、腹痛、吐き気など)ですが、発熱など風邪に似た症状の場合もあります。食中毒かなと思ったら、直ちに医師の診察を受けましょう。

食中毒は一年を通じて起こりますが、特に夏期と冬期にピークがあります。

- 夏期: 温度や湿度が高く細菌が増えやすいため、サルモネラ属菌や腸炎ビブリオなど細菌による食中毒が多い。
- 冬期: 空気が乾燥しウイルスが飛散しやすく、ノロウイルスなどウイルスによる食中毒が多い。

第36回三重県生活協同組合連合会
通常総会開催のご案内

三重県生活協同組合連合会
第36回通常総会

日時: 6月27日(水) 13:00~15:00

場所: 三重県教育文化会館 5階 大会議室
[津市桜橋2丁目142 TEL.059-228-1122]

議案事項は6月6日(水)第7回理事会で決定し、会員生協にご案内致します。

理事会だより

第6回理事会

(2012年4月5日 13:30~15:25 三重県生協連事務所)
出席理事6名、欠席理事1名、出席監事2名

報告事項

1. 機関会議の報告
 - 1) 第5回理事会議事録
 - 2) 委員会報告
2. 活動の報告
 - 1) 2月度決算(4~2月累計)
 - 2) 活動報告(2月~3月、今後の予定)
3. 日本生協連、県、諸団体等の会議報告
 - 1) 全国実践交流会「組合員の参加と組織」セミナー報告
 - 2) 2012年度3.1ピキニデー集会参加報告
 - 3) 国際協同組合年フォーラム ~絆社会と私たちの役割~報告
4. その他
 - 1) 平和の取り組みに対する県連助成について
 - 2) 社会・援護局関係主管課長会議「生協の指導監督」部分の抜粋について
 - 3) 会員生協からの報告

協議決定事項

1. 第35回(2012年)東海北陸生協行政合同会議について
2. 2012年役員定数と役員選任の件(案)
3. 平和市長会議加盟要請のまとめと今後の課題について
4. 三重県水産業・漁村振興懇話会への就任要請について
5. 「水産研究所未利用資源高付加価値化事業(クラスター事業)」にかかる有識者懇話会への委員要請について
6. 「社会保障と税の一体化改革」を許さないシンポジウム(仮称)行委員会への参加について

協議事項

1. 第36回通常総会開催にむけた事前決議事項の件(案)
2. 2011年度のまとめと2012年度方針の件(案)